

くれしんレポート

平成25年度上期の業況について

2013.4.1 ▶ 9.30

平成25年度上期 事業の概要

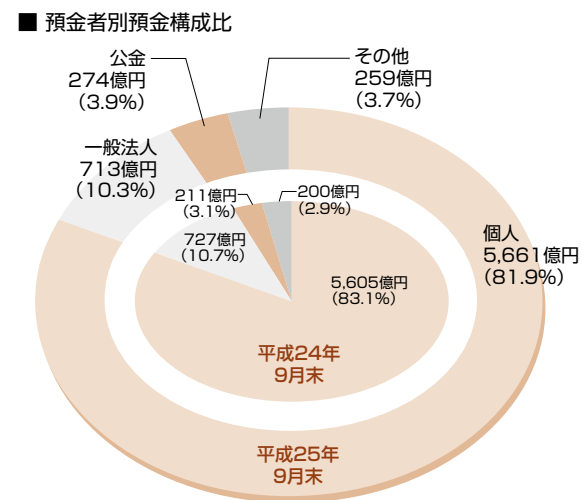
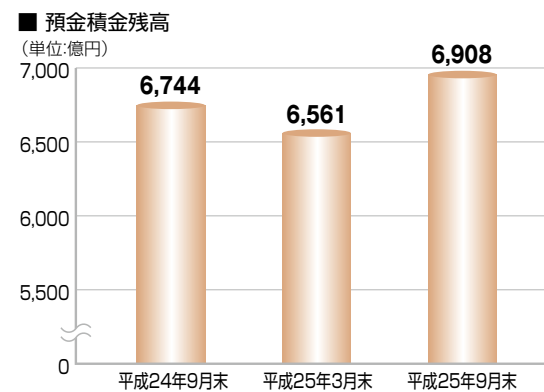
当地域の景況は製造業を中心に一部の業種で明るい兆しが見られるものの、全体への波及には今しばらく時間を要するものと考えられます。こうした中、当金庫は、法人・個人事業者のお客様には、外部機関とも連携したコンサルティング機能の発揮に努め、また、個人のお客様には、ライフステージに応じた金融サービスを積極的に提案してまいりました。

この結果、当金庫の業績は、預金積金・預り資産残高の合計額は期中345億円の増加（4.74%増）となりましたが、貸出金残高は期中1億円の減少（0.03%減）となりました。また、収益面では、経常収益は減収となりましたが、当期純利益は前年同期比3億33百万円の増益となりました。

■ 預金積金

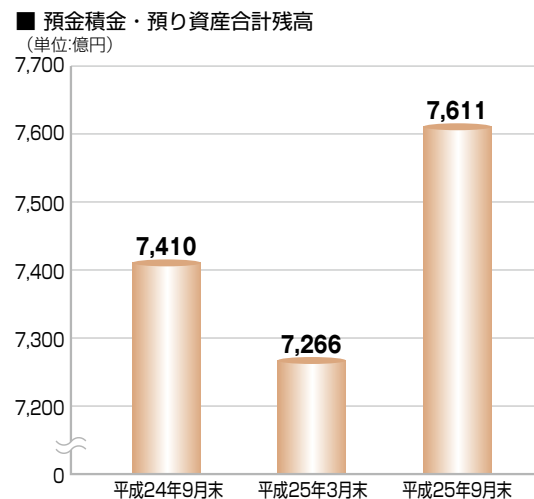
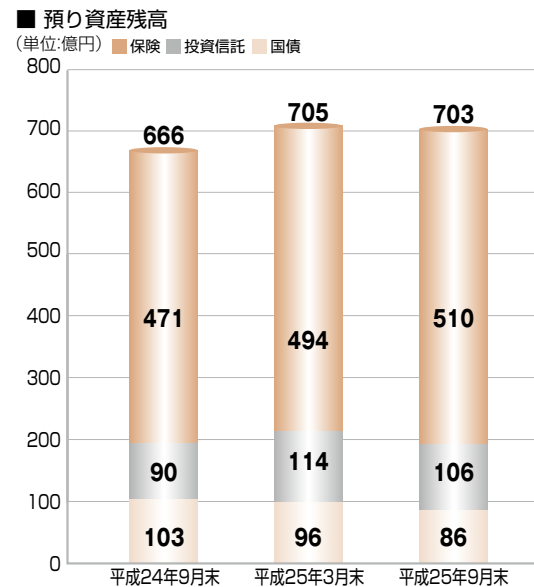
預金金利が低水準で推移する中、お客様の金利メリットにお応えする「なつとく定期預金」を販売しました。また、お客様のライフステージに合わせた商品提案として、子育て世代へは「子育て応援定期預金」、シニア・シルバー世代へは「年金優遇定期預金」や「教育資金一括贈与専用普通預金（愛称：まなび応援団）」を積極的に販売し、地域密着を深める営業活動に努めてまいりました。

その結果、預金積金は期中346億円増加し、9月末残高は6,908億円となりました。



■ 預り資産

お客様のライフステージに合わせた金融資産形成・運用をお手伝いするため、投資信託や保険商品の品揃えを充実するとともに、営業店での資産運用セミナー開催など、積極的な営業活動を行ってまいりましたが、国債の満期償還の影響から、預り資産は期中2億円減少し、9月末残高は703億円となりました。

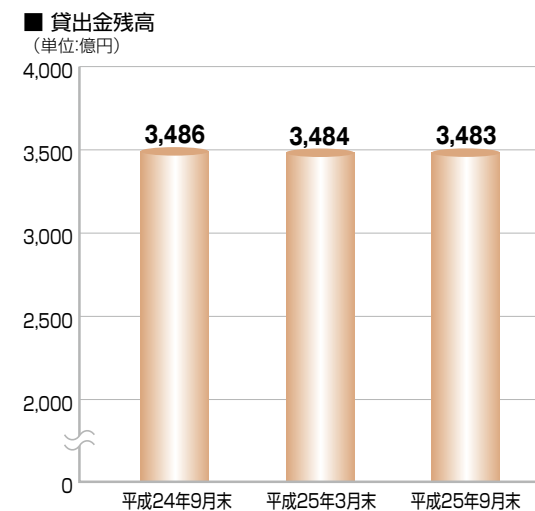


■ 貸出金

「仕事ふやし・仕事づくり」のサポートを実現するため、地域・お客様を「よく知る」活動により地域密着を深め、当金庫の使命である地域経済活性化に取り組んでまいりました。

法人・個人事業者のお客様には、「事業再生支援デスク」「事業成長支援デスク」等専門の部署を設けるとともに「ものづくり補助金の認定支援」等公的制度的活用を通して経営課題の解決に取り組みました。

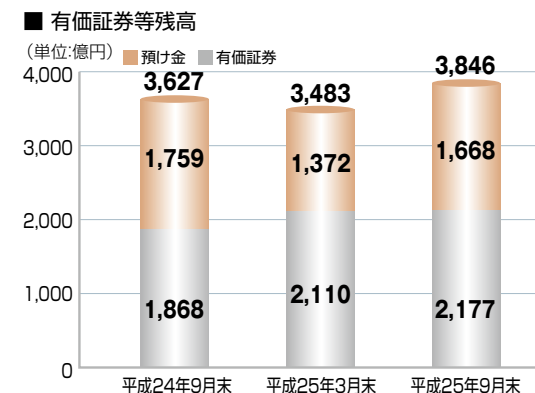
しかしながら、地域経済へのアベノミクスによる波及効果は限定的であることから資金需要も伸び悩み、貸出金は期中1億円減少し、9月末残高は3,483億円となりました。



■ 有価証券等

お客様からお預かりしている資金の一部は、安全性を重視し、比較的低リスクの低い国内債券を中心とした有価証券および信金中央金庫（信用金庫の中央機関）への預け金などで運用しています。

有価証券と預け金の合計額は、期中362億円増加し、9月末残高は3,846億円となりました。

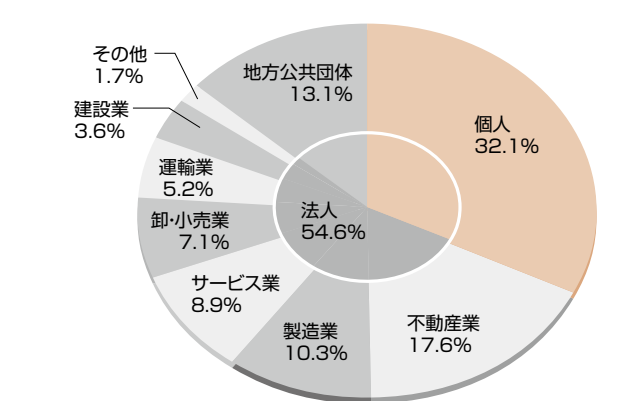


(注) 有価証券残高は、その他有価証券が時価、満期保有目的の債券および子会社・関連会社株式は取得価額で計上することとなっています。

■ 貸出金業種別残高内訳 (単位:億円)

業種	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
製造業	380	372	360
卸・小売業	253	247	248
運輸業	197	192	182
サービス業	286	314	310
建設業	127	125	128
不動産業	618	627	615
その他	57	62	59
地方公共団体	422	408	457
個人	1,142	1,133	1,121
合計	3,486	3,484	3,483

■ 貸出金業種別残高構成比 (平成25年9月末)



また、有価証券全体の評価損益は、市場金利の上昇により債券の時価が下落したことを主因として、前期末比11億円減少し、33億円の含み益となっています。

■ 有価証券の時価情報 (平成25年9月末) (単位:百万円)

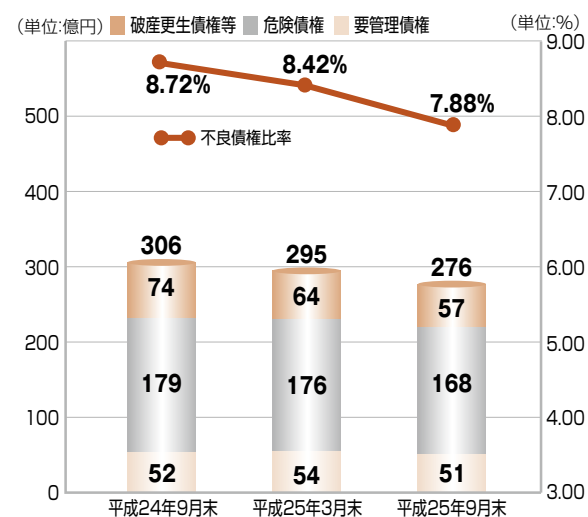
	取得価額 (A)	時価 (B)	評価損益 (B) - (A)
その他有価証券	212,020	215,281	3,261
株式	2,469	2,906	437
債券	203,096	206,012	2,915
その他	6,454	6,363	△ 91
満期保有目的の債券	2,454	2,548	93
子会社・関連会社株式	41	41	—
合計	214,516	217,871	3,355

■ 不良債権の状況

お取引先に対する経営改善への取組みによるランクアップ等を図るとともに、不良債権の削減に向けて、計画的な回収を図りました。その結果、不良債権（金融再生法ベース）の合計額は期中19億円減少し、不良債権比率は7.88%（期中0.54ポイント低下）になりました。

なお、こうした不良債権のうち、80.62%は貸倒引当金や担保・保証等によって保全されており、残りの約19%にあたる54億円は、自己資本（377億円）により、十分カバーされています。

■ 不良債権額（金融再生法に基づく開示額）・不良債権比率



■ 金融再生法開示債権 (単位：億円)

区分	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
破産更生債権等 (A)	74	64	57
危険債権 (B)	179	176	168
要管理債権 (C)	52	54	51
上記合計額 (D) = (A) + (B) + (C)	306	295	276
正常債権 (E)	3,206	3,211	3,228
合計額 (F) = (D) + (E)	3,512	3,506	3,505

■ 保全率・不良債権比率 (単位：億円)

区分	平成24年9月末	平成25年3月末	平成25年9月末
不良債権額 (A)	306	295	276
保全額 (B)	251	234	222
保全率 (B) ÷ (A)	82.23%	79.34%	80.62%
総与信 (C)	3,512	3,506	3,505
不良債権比率 (A) ÷ (C)	8.72%	8.42%	7.88%

(注) 総与信 = 正常債権 + 不良債権

■ 損益の状況

経常収益は、積極的な運用施策や市場の好転等により有価証券利息配当金や株式等売却益が増収となりましたが、貸出金利息の減収や債券売却益が少なかったことから、64億44百万円と前年同期比3億61百万円の減収となりました。

経常費用は、不良債権処理費用や経費の減少、株式売却損が発生しなかったことから、53億33百万円と前年同期比9億37百万円の減少となりました。

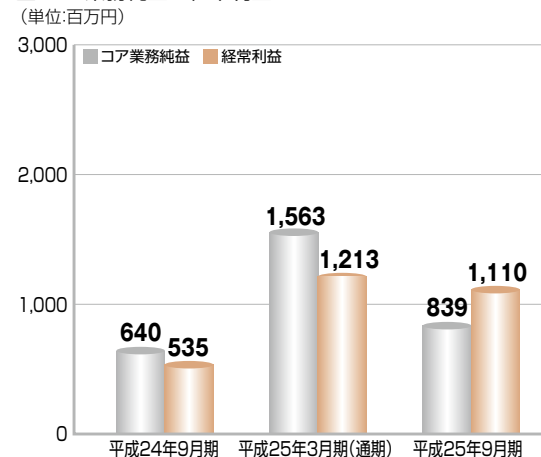
この結果、経常利益は11億10百万円と前年同期比5億75百万円の増益、当期純利益は6億67百万円と前年同期比3億33百万円の増益となりました。

なお、コア業務純益は、8億39百万円と前年同期比1億99百万円の増益となりました。

■ 経常収益 (単位：百万円)

区分	平成24年9月期	平成25年3月期 (通期)	平成25年9月期
経常収益	6,806	13,152	6,444

■ コア業務純益・経常利益



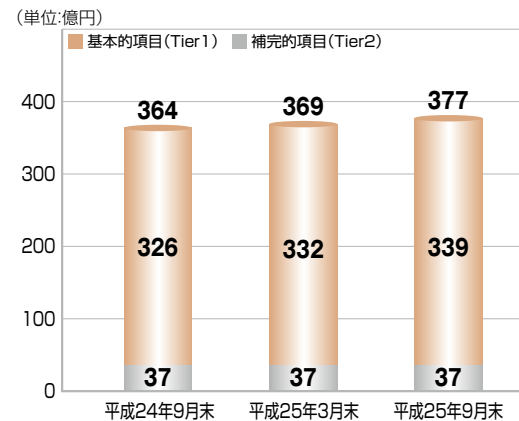
(注) コア業務純益とは、金融機関固有の収益指標である業務純益から国債等債券損益と一般貸倒引当金繰入額を控除したもので、信用金庫本来の事業活動のみの利益を示す指標です。

■ 自己資本比率（単体）の状況（概算値）

(1) 自己資本額

25年度上期末の自己資本額（暫定値）は377億円と、25年3月末比7億円増加しました。

■ 自己資本額（概算値）



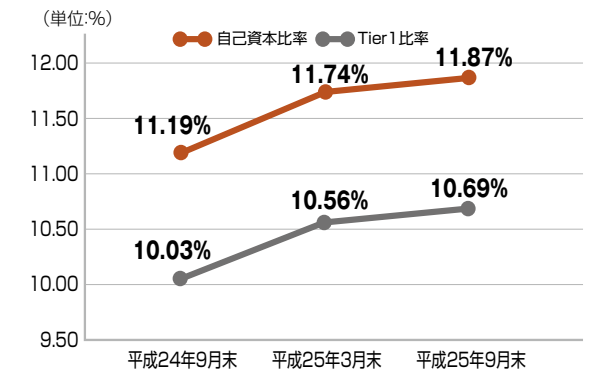
(注) 1. 信用金庫では正式な中間決算を行っていませんので、自己資本額は概算値となります。
2. Tier1とは、自己資本額のうち出資金や特別積立金等の基本的項目のことをいいます。

(2) 自己資本比率

自己資本比率は、11.87%と25年3月末比0.13ポイント上昇しました。

また、Tier I 比率も期中0.13ポイント上昇し、10.69%となりました。

■ 自己資本比率・Tier1比率（概算値）



(注) 自己資本比率算出にあたり、貸出金の信用リスク・アセットについては、当金庫の定めにより概算値にて算出しています。また、オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額は平成25年3月期の計数を使用しています。そのために自己資本比率は概算値となっています。

貸借対照表

科目	平成24年9月末	平成25年9月末
《資産の部》		
現金	6,175	5,825
預け金	175,928	166,834
コールローン	355	307
金銭の信託	500	—
有価証券	186,848	217,777
貸出金	348,639	348,316
外国為替	719	185
その他資産	4,542	4,252
有形固定資産	9,711	9,337
無形固定資産	417	345
繰延税金資産	3,165	2,390
債務保証見返	1,272	1,092
貸倒引当金	△15,192	△14,596
資産の部合計	723,084	742,067
《負債の部》		
預金積金	674,450	690,846
借入金	5,098	5,619
その他負債	2,491	2,544
賞与引当金	424	406
退職給付引当金	1,067	1,053
役員退職慰労引当金	275	129
睡眠預金払戻損失引当金	116	107
再評価に係る繰延税金負債	1,102	1,098
債務保証	1,272	1,092
負債の部合計	686,299	702,897
《純資産の部》		
出資金	2,702	3,016
利益剰余金	29,992	30,983
処分未済持分	△0	△0
会員勘定合計	32,695	33,999
その他有価証券評価差額金	1,271	2,365
土地再評価差額金	2,817	2,804
評価換算差額等合計	4,089	5,170
純資産の部合計	36,784	39,170
負債及び純資産の部合計	723,084	742,067

損益計算書

科目	平成24年9月期	平成25年9月期
経常収益	6,806	6,444
資金運用収益	5,148	5,187
(うち貸出金利息)	3,944	3,743
(うち預け金利息)	259	213
(うち有価証券利息配当金)	889	1,164
役員取引等収益	636	632
その他業務収益	824	158
その他経常収益	196	466
経常費用	6,271	5,333
資金調達費用	455	431
(うち預金積金利息)	424	403
役員取引等費用	423	437
その他業務費用	7	95
経費	4,268	4,113
その他経常費用	1,116	255
経常利益	535	1,110
特別損失	1	6
税引前当期純利益	533	1,103
法人税、住民税及び事業税	167	329
法人税等調整額	33	107
当期純利益	333	667

(注) 信用金庫においては中間決算が義務づけられていないため、この半期ディスクロージャーは当金庫が自主的に開示するものです。従って本紙に掲載している計数は、会計監査人の監査を受けておりません。

- 4月**
 - 「くれしん育英会」奨学生10名採用〔2日〕
 - 新入社員セミナー開催〔15日〕
 - 第1回介護相談会開催〔16日〕
 - 第56回呉みなと祭パレード参加〔29日〕
- 5月**
 - 第15回くれしんトップセミナー開催〔10日〕
 - 第20回くれしん文化講演会開催〔23日〕
- 6月**
 - 呉市立天応小学校で「金融教室」開催〔6日〕
 - 第88期通常総代会開催〔14日〕
(理事長が大年健二から槇岡敬人に交代)
 - 熊野支店移転オープン〔24日〕
- 7月**
 - 第18回くれしんママさんバレーボール大会開催
〔6・7日〕
- 8月**
 - 中学生職場体験「キャリア・スタート・ウィーク」実施
〔22～28日〕
- 9月**
 - 海外留学生を対象とした「もっと知って呉ツアー」実施
〔1日〕
 - 第19回くれしん少年サッカー大会開催〔7・8日〕
 - インターンシップ研修生受入〔9～13日〕
 - 第6回くれしんふれあいソフトテニス教室〔24日〕



理事長交代 (6月14日)



熊野支店移転オープン (6月24日)

地域活動への取組み

新入社員セミナー開催

4月15日、お取引先企業の新入社員の方を対象とした「新入社員セミナー」を開催しました。セミナーには11社から25名の新入社員の皆さんが参加され、ビジネスマナーや金融知識を身につけていただきました。



金融教室開催

6月6日、天応小学校の5年生を対象に『お金の基礎知識』や『お金の上手な使い方』をテーマとして、クイズ形式などで金融教室を開催しました。



第14回地域活性化支援制度「グッドラック」助成先決定

6月28日、アクティブベースくれによる地域活性化支援制度「幸運(グッドラック)」の目録贈呈式が行われました。今回は18先の応募の中から6先を決定し総額500万円の助成を行いました。



第18回くれしんママさんバレーボール大会

7月6日・7日、第18回くれしんママさんバレーボール大会を開催いたしました。大会では、地域の部から18チーム、クラブの部から25チームの合計43チームの選手が、優勝の栄冠を目指して戦いました。



第19回くれしん少年サッカー大会

9月7日・8日、第19回くれしん少年サッカー大会を開催いたしました。大会では、21チーム421名の選手により、2日間の熱い戦いが繰り広げられました。



当金庫の概要

(平成25年9月30日現在)

■ 設立：大正14年9月

■ 店舗数：46店舗 (うち3出張所)

■ 本店所在地：呉市本通2丁目2番15号

■ 店舗外ATMコーナー 37カ所 ■ 常勤役員数：718名



呉信用金庫

TEL (0823) 24-1181 <http://www.kure-shinkin.jp/>

平成25年11月発行 (本紙は再生紙を使用しています)